



8桁のBINへの移行準備

よく寄せられる質問

2020年1月

Visaパブリック

目次

1. ISOの新しい標準である8桁のBINを導入するためにVisaは何を計画していますか？	2
2. ISOとは何ですか？ ISOにはどのような役目がありますか？	2
3. 期日は2022年4月なのに、今からVisaが注目しているのはなぜですか？	2
4. カード発行金融機関が8桁のBINに移行するため独自のタイムラインを設定できることを考えると、これは販売環境にどのように影響しますか？	2
5. Visaは、8桁の発行BINの割り当てとサポートをいつ開始しますか？	3
6. 2022年4月以降も、Visaは6桁の発行BINのサポートを継続しますか？	3
7. カードのPAN番号の表示に変更はありますか？	3
8. 他の地域よりも先に移行する地域はありますか、それとも全地域が2022年4月までに準備することが予想されますか？	3
9. 8桁への変更は、データのマスクングや切り捨てに対するペイメントカード業界のデータセキュリティスタンダード(PCI DSS)要件にどのような影響を及ぼしますか？	3
10. BINの長さは、取得に対しても長くなりますか？	4
11. 発行BINの変更は、すべてのチャンネル(対面取引および非対面取引)と製品のタイプに該当しますか？	4
12. Visa取引のルーティングと清算に使われるデータはどのようなものですか？ またそれはなぜですか？	4
13. ATM(国内および海外)への影響、および技術的な影響や設定変更はどのようなものがありますか？	4
14. 6桁の発行BINレベルで作成されたカード発行金融機関のパブリックキー(IPK)証明書は、移行後も継続して使えますか？	5
15. 8桁への移行は、端末におけるIPK機能にどのように影響を及ぼしますか？	5
16. Visaは、8桁のBINに対してどのような種類のテストを提供していますか？	5
17. EMVCoはどのような変更を提案しており、また、それは6桁から8桁のBINへの移行に関してVisaが行っていることにどのように影響しますか？	5
18. Visaは、ペイメントシステムのすべての利害関係者にこれらの変更を通知する予定ですか？	6

よく寄せられる質問

1. ISOの新しい標準である8桁のBINを導入するためにVisaは何を計画していますか？

Visaは、新しい国際標準化機構規格 (ISO/IEC 7812-1、識別カード-カード発行金融機関の識別-パート1:ナンバリングシステム)に準拠して、加盟店契約会社およびプロセッサが8桁のBINを処理できるように準備する期限として2022年4月を設定しました。

2022年4月より、Visaは、全加盟店契約会社とプロセッサ(カード発行金融機関と加盟店契約会社)に、新しい発行BINをサポートすることを義務付けます。さらに、Visaは、2022年4月以降は8桁の発行BINのみを割り当てます。Visaは、カード発行金融機関が現在の6桁の発行BINをすべて8桁のISOにできるだけ早く移行することを強く勧めています。カード発行金融機関はこの拡張について独自のスケジュールを設定する裁量権を持っています。

2. ISOとは何ですか？ ISOにはどのような役目がありますか？

国際標準化機構 (ISO) は、Visaの用語で「BIN」と呼ばれるカード発行金融機関識別番号 (IIN) を定義する標準を監督しています。American Bankers Association (ABA) は、ISOに代わって、カード発行金融機関が利用できるIINのプールをグローバルに管理しています。

3. 期日は2022年4月なのに、今からVisaが注目しているのはなぜですか？

新しい業界の8桁のBIN標準に対する更新処理とダウンストリームシステムへの影響は、決済利害関係者によって大きく異なります。Visaは、効率を最大化し予期せぬ事態を回避するために、クライアント、パートナー、エージェントおよびベンダーが積極的に関与し、できるだけ早く組織全体に及ぶ影響を評価することをお勧めします。決済インフラストラクチャー全体での発行BINの重要性を考えると、同案件を後回しにすることは重大なエラーとなるでしょう。

カード発行金融機関の取引処理、ルーティングおよびダウンストリームアクティビティの支援担当者は、影響を考慮し、テスト、実装スケジュールおよび変更の報告について協力する必要があります。VisaNetは、8桁のBINのサポートを行う準備ができています。

4. カード発行金融機関が8桁のBINに移行するため独自のタイムラインを設定できることを考えると、これは販売環境にどのように影響しますか？

ISOは現在、新しい要求に8桁の発行BINを割り当てていますが、主要なグローバルブランドに対する施行日として発表された2022年4月までは、他の6桁の発行BINシーケンスを保護するとも述べています。同様に、Visaは、2022年4月まで、新しい8桁のBIN、または新しく移行された8桁のBINに関連付けられた他の発行BINを保留しています。ISOの変更ではシステムから6桁のBINを削除する必要がないため、加盟店、加盟店契約会社およびプロセッサは、引き続き6桁と8桁のBINの両方をサポートしなければなりません。

5. Visaは、8桁の発行BINの割り当てとサポートをいつ開始しますか？

Visaは現在8桁の発行BINを割り当てています。このタイミングは、VisaNetおよびダウンストリームシステムとアプリケーションがクライアントの8桁のアクティベーションをスムーズにサポートするためにVisaが行った包括的な作業と一致しています。Visaは、8桁の発行を開始する計画の一環として、クライアントがプロセッサおよび影響を受けるサードパーティやエージェントと調整することをお勧めします。

6. 2022年4月以降も、Visaは6桁の発行BINのサポートを継続しますか？

はい。Visaは、カード発行金融機関が発行BINの一部を8桁に拡張するか、あるいはすべてを8桁に拡張するかを選択し、この拡張に向けたタイムラインを独自に設定する裁量を許可しています。2022年4月以降、6桁と8桁両方のBINが存在することになります。ただし、2022年4月以降、Visaは8桁のBINのみを割り当てます。Visaは、2022年4月の施行日以降は6桁の発行BINを割り当てません。Visaは、クライアントが9桁のアカウント範囲レベルでの発行に移行して、同じ6桁のBINで異なる商品を組み合わせて、それによってポートフォリオを可能な限り少ない数の8桁のBINに移行できるようにすることをお勧めします。

7. カードのPAN番号の表示に変更はありますか？

いいえ。PANとトークンの両方とも16桁のままです。したがって、カードのエンボス加工の配置に影響はありません。注：ヨーロッパでのみ利用可能なV PAYは、一部の実装に対して19桁のPANを使用します。

8. 他の地域よりも先に移行する地域はありますか、それとも全地域が2022年4月までに準備することが予想されますか？

Visaは地域ごとに区別していないため、BIN拡張のためにグローバルな実装計画を作成しました。VisaNetは8桁のBINを取り扱う準備が整っており、クライアントは移行作業を開始して、新しい8桁のBINを要求することができます。全地域のクライアントは、2022年4月までに8桁の発行BINに対応する準備をしなければなりません。

9. 8桁への変更は、データのマスクングや切り捨てに対するペイメントカード業界のデータセキュリティスタンダード (PCI DSS) 要件にどのような影響を及ぼしますか？

Visaは、8桁のBINへの変更を評価する際に、現在の標準への影響を確認するように利害関係者にアドバイスしています。

- **画面および報告に提示されるデータ**：すでにPCI DSS内にある規定により、正当なビジネスニーズを持つユーザーはPANの数字の一部またはすべてを見ることができます。
- **保存データ**：8桁のBINへの拡張を評価した後、ペイメントカード業界は、保存データを保護するために、少なくとも6桁を切り捨てるか暗号化するべきだとアドバイスしています。保存データを保護するためのPCI要件に準拠する唯一の方法として切り捨てを使用し、8桁のBIN全体と最後の4桁を公開したいクライアントは、暗号化、ハッシュ化、トークン化など、データ保護のために許される方法を1つ以上追加する必要があります。

Visaは、加盟店が、PCIDSS要件のトレーニングを受けているPCI QSAに相談することをお勧めします。QSAは、既存の管理に基づいて加盟店に相談し、準拠した実装を実現するための適切な推奨事項を提供するのに適切な立場にあります。これは、加盟店が承認済みのテクノロジー技法に慣れていない場合には、特に重要になります。

10. BINの長さは、取得に対しても長くなりますか？

いいえ。Visaは、取得をサポートするためにISOのBINを使用しなくなります。その結果、取得のために使われるすべてのBINは6桁のままとなります。Visaは、ISO発行のBINとの混同を避けるために、これらのBINの名前を**取得識別子**に変更します。

11. 発行BINの変更は、すべてのチャネル(対面取引および非対面取引)と製品のタイプに該当しますか？

はい。BINの長さの変更は、チャネルと製品には無関係です。BINの変更は、将来発行するすべての資格情報をサポートする予定です。

12. Visa取引のルーティングと清算に使われるデータはどのようなものですか？またそれはなぜですか？

Visaの取引の適切なルーティングに対して、Visaは加盟店契約会社にVisaルーティングテーブル(例: Visa Plus、インテリリンクなどのルーティングテーブル)を提供します。カード発行金融機関がオーソリゼーション要求対清算に対して異なる処理エンドポイントを使用することや、カード発行金融機関が9桁を超えるルーティング設定を確立することが可能なため、ARDEFテーブルは、ルーティングに使用しないでください。オーソリゼーション要求が予想どおりにルーティングされない可能性があります。

Visa取引の適切な**清算**のため、Visaを介して全取引を自動的にルーティングしない加盟店契約会社は、ARDEFテーブルを使用して、製品属性などの取引データを入力する必要があります。加盟店契約会社がVisa ARDEFテーブルを使用しない場合は、予想どおりに取引が清算されない可能性があります。

誤ったテーブルを使用したり、テーブルが更新されていない場合には、不必要な拒否、拒絶、または誤ったルーティング、照合確認コストの増加につながる可能性があります。これは、カード発行金融機関が、特定の製品および/または処理パラメーターを区別するために1つ以上の9桁のアカウント範囲を使用して割り当てられた6桁の発行BINを利用する場合、特に当てはまります。

13. ATM(国内および海外)への影響、および技術的な影響や設定変更はどのようなものがありますか？

ATM取引処理のための発行BINのテーブルのソースと使用は、販売時点情報管理処理と似ています。発行BINテーブルとハードコードされた発行BINのロジックが6桁のBINに制限されているユースケースでは、2022年4月までに8桁に拡張しなければなりません。

たとえば、「サーチャージなし」の取引を特定するためにATM取引処理で使用される1つのテーブル(金融機関表、「FIT」)は、ATM所有者(またはカード発行金融機関)ごとに1,000記録に制限されています。カード発行金融機関が8桁の発行BINに移行する際、6桁から8桁に変換する単一のカード発行金融機関が1,000を超える発行BINを持つ可能性があります。したがって、この状況に対応するためにはテーブルを拡張する必要があります。さらに、

そのテーブルで更新されるBINの数が増えるため、手動でアドホックなプロセスを確立する必要が少なくなる場合があります。

ただし、クライアントごとに設定が異なるため、必要な変更に影響を与える可能性があります。各クライアントは、8桁のBINの影響について独自の内部分析を行い、必要な場合には、どのような変更が必要かを判断する必要があります。

14. 6桁の発行BINレベルで作成されたカード発行金融機関のパブリックキー (IPK) 証明書は、移行後も継続して使えますか？

はい。IPKとそれらのIPKに署名したVisaキーの両方が引き続き機能します。オフラインデータ認証 (ODA) 検証プロセスは、IPK証明書が6桁の発行BINまたは8桁の発行BINのどちらを使用して発行されたかには影響を受けません。カード発行金融機関は、VSDC CAに8桁のBINの証明書を要求することができます。現在の計画では、Visaスマートデビット／クレジットチップアプリケーション (VSDC CA) を変更して、6桁の発行BINまたは8桁の発行BIN情報を含む要求をサポートする予定です。

15. 8桁への移行は、端末におけるIPK機能にどのように影響を及ぼしますか？

8桁のBINのIPKをサポートするための端末機能または処理に変更はありません。端末は引き続きVisaのパブリックキーテーブルを維持し、EMVCo要件に準拠しなければなりません。EMVCo要件は6桁と8桁のBINに基づいて変更はされません。8桁のBINでIPKをサポートするために加盟店が行う必要のある変更はなく、カード会員の体験にも変更はありません。

16. Visaは、8桁のBINに対してどのような種類のテストを提供していますか？

VisaNetでのオーソリゼーション、清算、決済に対するメッセージには変更がないため、8桁の発行BINのテストはオプションです。Visaは、利害関係者が内部処理システムとダウンストリームシステムをテストして、影響を特定し、施行日前に問題を解決することを強くお勧めします。

テストの実施を選択する人は、範囲を決定し、要件に基づいてテスト計画と成功基準を作成する必要があります。テストには、Visaクライアントがサポートすることを選んだ製品／サービスのオーソリゼーション、取り消しが含まれる場合があります。加盟店契約会社のテストのために、Visaは8桁に対するテストレスポンドIDを提供します。8桁のBINをテストするカード発行金融機関に対して、VisaはPANを送り、カード発行金融機関はそれを6桁ではなく8桁として取り扱います。

17. EMVCoはどのような変更を提案しており、また、それは6桁から8桁のBINへの移行に関してVisaが行っていることにどのように影響しますか？

EMVCoチップ仕様は、カード発行金融機関が割り当てたタグを区別するために使用されるカード発行金融機関識別番号 (IIN、タグ「42」) データオブジェクトを除いて、8桁のBINを使用するアカウント番号をすでにサポートしており、そのデータオブジェクトは6桁に固定された長さを持っていると現在定義されています。EMVCoは、最大8桁の長さの新しいIINデータオブジェクトを導入するためのドラフト仕様の告示を発表しており、2020年後半に最終仕様の告示を発表する予定です。

18. Visaは、ペイメントシステムのすべての利害関係者にこれらの変更を通知する予定ですか？

Visaは、利害関係者が認識していることを確認するために、包括的なコミュニケーションアウトリーチを実施しています。さらに、Visaクライアントがすべての利害関係者との認識を構築することが不可欠です。これらの変更を通知することは、共有の責任です。

ペイメントシステムに関わっている人の数を考えると、Visaがすべての利害関係者と直接連絡を取り合える可能性は高くありません。Visaの各クライアントは、クライアントが直接関係を持っており影響を受けるエージェント、サードパーティおよび加盟店と連絡を取る責任があります。詳細情報やリソースについては、Visaクライアントは、[Visaオンラインのカード番号体系イニシアチブのページ](#)をご覧ください。クライアント以外の方は[Visa.comのカード番号体系イニシアチブのページ](#)をご覧ください。